

警戒！埋設物事故が増えています！

近畿管内の埋設物事故件数（同月比）



※R6年度は11月未までの速報値

今年度、埋設物事故が増えています。

埋設物事故は、ガス爆発の危険性や電気・通信線、上下水道の切断による住民生活への影響など、**周辺地域へ多大な影響を及ぼす可能性があり、社会的責任が問われる事故になります。**

今一度、関係者全員が「**埋設物事故は絶対に起こさない**」を心がけ、**作業手順を確認し、適切な安全対策をお願いします。**

事故事例 ケーブルの明示をせず、事故発生

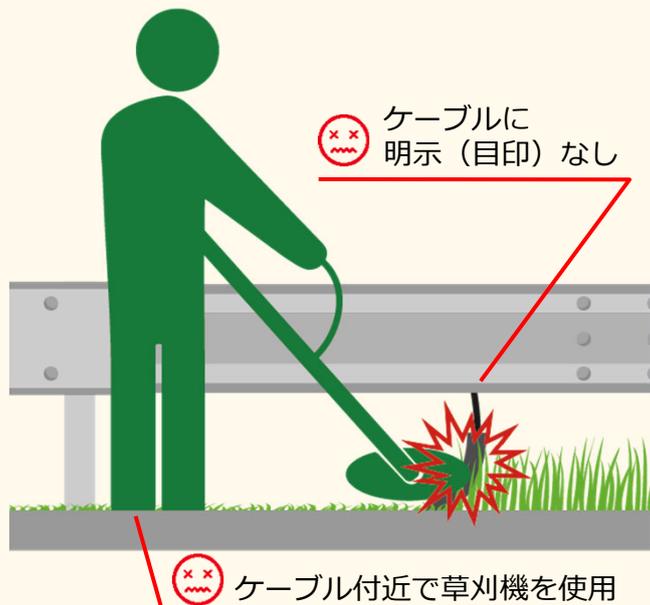
当日KY



草刈機を使用するとケーブル切断の危険があります

なのでケーブル付近は鎌で草刈りをして下さい

事故発生時



【事故概要】

道路改良工事中の除草作業において、作業員が肩掛け式草刈機でCCTVケーブルの立ち上がり部を切断した。

現場はCCTVを仮移設するために地中埋設区間からガードレールに沿った空中配管に切替える立ち上がり部であった。

【主な要因】

ケーブルの明示を行っていない。

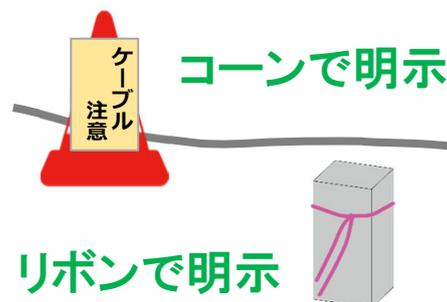
施設の周囲を手刈りで作業していない。

■事故発生時の状況



埋設物や敷設ケーブル（支障物）があることを認識していても、作業を進めるうちにその存在を忘れてしまうことがありますので、**作業前には必ず明示**しましょう。

また、下請けや作業員に対し、**具体的な安全対策を指示するよう徹底**ください。



近畿地区建設工事安全対策推進協議会（舗装部会）の 現場点検合同パトロールを行いました

令和6年10月29日、近畿地区建設工事安全対策推進協議会※（舗装部会）において、舗装工事の現場で合同パトロールを実施しました。当日の指摘事項と改善策等を紹介しますので、各現場における安全点検の参考にしてください。

※現場における事故の実態並びに安全管理上の問題点を明らかにし、これに対応した具体策の検討を行うため、国土交通省と工事を施工する建設業界とが直接、意見交換をする場として「近畿地区建設工事安全対策推進協議会」が設けられています。本合同パトロールは、（一社）日本道路建設業協会関西支部と近畿地方整備局が合同で行いました。

改善例①

歩道側に土砂・泥水が流出している



改善例②

歩道に連結部針金が出ている



改善例③

一本吊りの危険性がある



枕土嚢を設置しました



改善後

針金の端部が場内側になるようにしました



改善後

二点吊りにしました



改善後

好事例

作業機械に作業時のチェック項目を貼付している



無事故で新しい年を迎えましょう！

本格的な冬の到来を迎える準備など、年末の慌ただしい時期になりますが、力を合わせて無事故で一年を締めくくり、明るい新年を迎えましょう。